

# 令和5年度 事業報告

(社福)長野県知的障害者育成会

## I 法人本部事業報告

社会福祉法人長野県知的障害者育成会は、公益を大切にする民間法人として、長野県手をつなぐ育成会と協同して、長野県における知的障害者の福利厚生を増進するための実践の場として、県下にネットワーク形成を図りながら、事業を推進しました。

本年度の職員研修は、法人財務会計入力適正化を目的に7月20日に法人施設長及び財務会計入力担当者による財務パソコン研修会を松本市「JDL松本営業所」にて開催しました。

また、職員人材育成プランの運用が始まる中、施設長による面談の手法、よりよい職場作りについての研修の希望があったため、日本産業カウンセラー協会の窪田明美氏に依頼し、ZOOMによる研修を9月14日に行いました。

虐待防止 ZOOM 研修会は、1月19日（金）午後16時～17時半に開催しました。事前に各事業所にアンケートを取り、当法人の評議員でもある、かりがね福祉会理事長の小林彰氏に依頼し、日頃の支援についてわかりやすく話していただきました。

法人の基本理念「誰もが笑顔で輝く共生社会の創造に貢献します。」に基づき事業推進しました。

### 1 会議の開催

事業計画、予算、決算、諸規程などの重要事項について会議を開催しました。

#### (1) 理事会（4回）、評議員会（1回）の開催

	開催日	主な内容
第1回理事会	令和5.5.25	令和4年度第4回補正予算(理事長専決)について 令和4年度事業報告・決算承認について 次期役員候補者(理事、監事)の承認について 評議員会の招集について
第1回評議員会	令和5.6.16	令和4年度事業報告・計算書類等の承認について 次期役員(理事、監事)の選任について [報告] 令和5年度事業計画・予算について 法人中期計画について
第2回理事会	令和5.6.16 (理事・監事全員の同意により招集手続き省略)	理事長及び副理事長並びに常務理事の互選について 欠員補充のための評議員選任解任委員会の開催及び推薦候補者の承認について
第3回理事会	令和5.11.17	補正予算について 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程について
第4回理事会	令和6.3.28	補正予算について 令和6年度事業計画について 令和6年度当初予算について 感染症・食中毒のまん延防止に関する指針について 理事退任と補欠理事の理事就任について 企業センターの施設整備積立預金取崩しについて 施設長の任命について 就業規則の変更について

## (2) 経営委員会の開催 (5回)

	開催日	主 な 内 容
第1回	令和5.4.27	令和4年度第4回補正予算について 令和4年度事業報告、決算報告について 監査対応について 定時評議員会の開催について
第2回	令和5.7.20	第1四半期収支状況について 各施設の運営状況について
第3回	令和5.10.19	第2四半期収支状況について 令和5年度第1回補正予算について 各施設の運営状況について 理事会について 電子取引データの訂正及削除の防止に関する事務処理規程について
第4回	令和6.1.19	第3四半期収支について 次年度新規事業・採用計画について 新年度事業計画について 感染対策指針、感染症対策委員会、BCPについて キャリアパス面談について
第5回	令和6.3.12	令和5年度第2回補正予算について 令和6年度事業計画について 令和6年度当初予算について 電子取引データの訂正及び削除に関する事務処理規程、 感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針について 退任理事と補欠理事の理事就任について 企業センターの施設整備積立預金取崩しについて 施設長(Lサポート、企業センター)の任命について 就業規則の変更について 各施設の運営状況について

## (3) 施設長会議の開催 (3回)

	開催日	主 な 内 容
第1回	令和5.9.14	キャリアパス面談研修の感想 各施設報告事項等
第2回	令和5.11.24	事業所の状況、相談したいこと等について BCPの状況について 電子帳簿保存法、虐待防止について
第3回	令和6.2.22	補正予算について 次年度予算について 各施設の運営状況について

#### (4) 虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会の開催（2回）

	開催日	主 な 内 容
第1回	5. 9. 14	各施設での不適切な支援などの状況について 昨年度の小林氏の研修を受けて、その後の対応等 今年度の虐待防止、身体拘束適正化研修について
第2回	5. 11. 24	今年度の虐待防止研修について 各施設での状況について

## 2 経営

### (1) 安定した経営の確立

経営委員会において、四半期の収支状況や利用状況を確認しながら事業展開を進めました。

### (2) 人材の育成

福祉事業活動を担う職員の質的向上等のため職員研修会を開催しました。

ア 会計事務 令和5年7月20日（木）10：00 松本市

テーマ：会計処理（JDL）実務研修

参加者：各事業所会計責任者・出納担当者・管理者

イ キャリアパス研修 令和5年9月14日（木）9：30～11：30 ZOOM研修

テーマ：「目標とやりがいを持って働ける職場づくり」

参加者：各事業所施設長・理事長・法人本部

ウ 虐待防止研修 令和6年1月19日（金）16：00～17：30 ZOOM研修

テーマ：「虐待防止について」

参加者：法人全職員（当日不参加者は後日ビデオ視聴）

講師：小林彰氏

## 3 管理業務

(1) 年度初めに理事長とともに松本市、飯田市の担当者に法人中期計画の説明を行いました。

(2) 理事監事の任期満了に伴う継続手続き、評議員欠員による新評議員の選出に伴う事務手続きを行いました。

(3) 価格高騰対策支援金を法人でまとめて申請業務を行いました。

(4) BCP作成について介護労働安定センターに依頼し、各事業所の作成を支援しました。

## 4 情報の開示

令和4年度事業報告書や財務諸表について、開示用の資料を備えたほか、ホームページ及びワムネット情報公表システムにより公開しました。

## Ⅱ ドリームワークス事業報告

新型コロナウイルス感染拡大に配慮しつつ年間を通して安定した開所をすることが出来ました。秋には延期となっていました15周年記念行事を「開所18周年祝賀会」として開催いたしました。また、夏には松本市美術館においてアート活動の作品展「いま、ここにいる」を開催し多くの方々にご来場いただき大盛況の中終わることができました。コロナ禍の影響がまだまだ続く日々ではありましたが、少しずつ販売活動へも参加できるようになりました。利用者の笑顔も多く見られ安定して通所いただきました。

### 1 提供したサービス

#### (1) 生活介護事業

ア 障害の特性に寄り添いながら、楽しく安心して過ごせる環境作りに取り組みました。

イ 地域の中で活動することで豊かな充実した毎日を送れるよう支援に取り組みました。スマイル山雅農業プロジェクトに参加し松本山雅サポーター、神林地区、松本山雅F Cの皆さんと種まき、収穫を行いました。残念ながら雨が少なく大豆の収穫量が0Kgという大打撃を受けました。(就労継続支援B型も同内容)

ウ 活動内容

##### (ア) 作業活動

資源回収、お菓子販売活動、缶つぶし、受託作業、大豆選別

##### (イ) 健康管理

ハイキング、インフルエンザ予防接種、体重/血圧測定、通院支援(適時)、投薬管理、リハビリ、歯磨き、健康診断(嘱託医療機関にて受診)

##### (ウ) 療育的活動

ビーズ(ワークシステム)、音楽リトミック、パソコン(ブログ等)絵画、自立課題への取り組み

アート活動・音楽活動：すみあそび、音あそび、色あそび  
ながのアートミーティング(外部講師2名)

##### (エ) 季節の行事

花見、紅葉狩り、日帰り小旅行、クリスマス会

##### (オ) 送迎サービス 利用者：18名

松本市内方面(東)：朝・夕

松本安曇方面(西)：朝・夕

#### (2) 就労継続支援B型

ア 障害の特性に寄り添いながら、楽しく安心して作業活動等に取り組める環境作りに努めました。

イ 地域の中で活動することで豊かな充実した毎日を送れるよう支援に取り組みました。スマイル山雅農業プロジェクトに参加(1)ア参照

ウ 活動内容

##### (ア) 菓子製造

- 松本山雅ホームゲームの際にガン豆くんクッキーの販売を行いました。
- 喫茶山雅へイベント用ガンズくんクッキーを納品しました。
- その他に以下の場所へ定期的に納品しました。  
銀座 TOKYO ながの、喫茶山雅、浅間温泉わいわい広場、清流の里、アルプス市場
- 神林ハウスにて神林商工会の方々と松本山雅ホームゲームの日は販売を行いました。

(イ) 資源回収

古紙・アルミ缶の回収では、毎日定期的に回収活動ができるようになり、利用者の好きな仕事になっています。

(ウ) 自主製品

障害の特性を活かし、ダイヤモンドビーズの活動を取り入れ販売しました。楽しみながら製品を作っています。

エ その他

余暇活動・健康管理・季節の行事等は生活介護事業と一体化して行いました。

<作業収入及び工賃状況>

製品・作業内容	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
自主製品販売 (工芸品等)	46,624	就労継続B型 (9名)
自主製品販売 (菓子食品・コーヒー販売・ コーヒー豆焼き、芋)	1,243,483	7,526 (前年比 100%)
受託作業 (加工)	138,806	生活介護 (4名)
受託作業 (廃品回収)	417,495	8,748
合計	1,846,408	(前年比 106.6%)

(3) 相談支援事業(サービス等利用計画作成)

ア ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者・家族の意思決定を尊重した計画作成を進めたが、計画作成数は事業の利用者のみに終わりました。

イ サービス等利用計画の作成を通して、地域で不足しているサービス等 社会資源の改善・開発につながるような取り組みまでは行えず、次年度への課題となりました。

ウ 福祉、医療、教育、保険、就労、司法等さまざまな人と人とのネットワーク作りの構築を図るよう努めました。

エ 計画相談 30 件、モニタリング 72 件を実施しました。

2 運営管理

(1) 避難訓練等

ア 施設内において 2 回 (6 月、3 月) 避難訓練緊急連絡網にて連絡、神林消防署立合いの(6 月)下、避難訓練を実施しました。

イ セコムと業務契約を締結し、防災対策をとっています。

ウ AED の設置点検を年 4 回行いました。

エ 松本市より福祉避難所の指定を受けています。

## (2) 修繕

大きな修繕はありませんでした。

## (3) 健康診断

ア 5月26日嘱託医訪問にて新型コロナワクチン接種6回目を希望者接種しました。

イ 希望利用者に対して嘱託医療機関において3月健康診断を行いました。

ウ 職員全員の健康診断を7月から12月の間に市内医療機関において行いました。

エ 希望利用者に対して嘱託医療機関において11月にインフルエンザ予防接種を行いました。

オ 職員全員に嘱託医療機関において11月にインフルエンザ予防接種を行ないました。

## (4) 苦情処理

ア 苦情案件 0件

イ ヒヤリハット 5件

メンバーによるメンバーへの加害行為 2件

メンバーによる職員への加害行為 1件

外出時メンバー1名を捜索 1件

書類の保管について(すぐに保管場所に戻さず放置) 1件

## (5) その他

- ・ 長野県知的障がい福祉協会他各種研修会に参加しました。
- ・ 権利擁護のZOOM研修会を松本市内7法人10事業所合同で行いました。  
野澤和弘氏 「障がいのある方の権利擁護」  
川西大吾氏 「自閉症スペクトラム障がいの基礎理解」6回
- ・ 松本市の実地指導がありました。指摘事項：特になし
- ・ 令和2年度から令和4年度介護給付費、訓練等給付費の過誤調整をしました。
- ・ 相談支援専門員1名の有資格期限切れが判明し、過誤調整をしました。

## 3 地域・関係機関との連携

### (1) 行政機関等

松本市、安曇野市、塩尻市、朝日村、山形村

松本保健福祉事務所、神林公民館

### (2) 活動支援者

パソコン指導者、すみあそび指導者、音あそび指導者

お菓子指導他

### (3) 近隣施設

入所施設：アイアドバンス今井、アルプス学園、四賀アイアイ

通所施設：コムハウス、第二コムハウス、松本ひよこ、山ぼうし、パノラマ他

居宅介護事業所：結いの街、らいふあしすと(西)、CoCo、みらい  
相談支援センター：wish、ボイス、ぴあねっと、中信他

(4) 医療機関

あかはね内科、神経内科医院、こども病院、村井病院他

(5) 学校関係

松本養護学校、寿台養護学校

(6) 就労関係

長野県セルフセンター

東電波田療、母子ホーム、美容院2店舗、あかはね内科他  
中田歯科医院等（定期的に回収箇所10）

(7) その他

- 神林商工会に加入
- 松本山雅を応援する会神林地区に参加
- 長野県知的障がい福祉協会加盟
- イオンクレジット株式会社（クリスマス会にて交流）
- 今年度は利用者一人ひとりへプレゼントの寄贈をいただきました。

**資料**

令和6年3月31日現在

【生活介護・就労継続支援B型】総開所日数：241日

【生活介護】平均障害支援区分：5.1 強度行動障がい加算対象者：14名

＜利用者の状況＞

1 年齢別数 (人)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	計
生活介護		12	10	4		26
就労継続支援B型	2	4	3			9
合 計	2	16	13	4		35

2 障害者別数 (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	計
生活介護	26	(8)				26
就労継続支援B型	9	(1)	(1)			9
合 計	35	(9)	(1)			35

注：( ) 内は知的と重複

3 支援区分別人数【生活介護 26名】 平均支援区分：5.1 (人)

支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男				4	6	5	15
女			1	2	2	6	11
合 計			1	6	8	11	26

＜職員の状況＞

職種別数 多機能型 (人)

事業名	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員	職 業 指導員	相 談 支 援 専 門 員	看護師	送迎員 事務員	計
生活介護	1	(1)	13			1		15
就労継続支援B型	—	(1)				—		
相談支援	(1)		1	1	(1)	—		2
合 計	1	(1)	14	1		1		17

注：( ) 内は兼務職員配置数

＜新型コロナウイルス感染者状況＞

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

事業所での感染対応者なし

### Ⅲ エルサポートパノラマ事業報告

令和5年度は、コロナが落ち着いてきたことにより、喫茶が一年を通じて営業できたこと、販売会等の回復により菓子販売が好調だったこと等から、就労支援事業収益が増額となり、コロナ禍前の令和元年度水準まで回復しました。その結果、平均工賃月額は、17,433円となり、2年続けて1万5千円超えを達成することができました。

また、新規の利用等により利用者が増となり、障害福祉サービス等事業収入が増加し、事業活動による収支では前年に引き続き黒字となり、全体収支は赤字となりましたが、赤字幅を小さくすることができました。

そして、4年ぶりにパノラマ祭を開催することができるなど、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあった1年でしたが、一方でコロナ感染は尾を引き、他者への感染拡大対策等に引き続き追われました。感染は利用者・スタッフに及び、5月に1人、6月3人、7月1人、1月1人、そして2月には5人の集団感染が発生し、その都度、感染防止対策、検査対応やグループホームでの隔離対応のほか、B型では都合6日間を臨時休業として対応を取りました。

#### 1 提供したサービス

##### (1) 就労継続支援B型事業

松本市中央図書館の館外清掃、廃品回収作業を中心として取り組みましたが、喫茶、菓子の売上が増加し、前述のとおり平均工賃月額は2年続けて1万5千円を超えることができました。また、8月下旬に1名退所となりましたが、4月、9月の新規利用を初め、利用の増により、障害福祉サービス等事業収入が増となりました。

##### ア 主な就労支援内容

##### (ア) 清掃

松本市から受託している松本市中央図書館の庭園及び駐車場の清掃を当事業所の中核的業務として取り組み、加えて週に1回の長野県松本合同庁舎の清掃業務に取り組みました。

##### (イ) 喫茶

コロナによる松本市中央図書館の閉館措置もなく、感染緩和傾向の中に合って、一年を通じて営業することができ、売上も大幅に増額となりました。

利用者には、喫茶パノラマでの接客を通じて、社会的マナーを身につける機会としました。

##### (ウ) 資源物回収

2カ所の回収ステーション（事業所併設ST、市内清水ST）及び法人・個人宅への訪問回収業務を通じて、古紙、古本、段ボール、アルミ缶、空き瓶等の資源物回収に取り組みました。清水STについては、借地の宅地分譲化に伴い12月末に近隣地へ移転しましたが、移転に伴い利用が減少していることから、年度末には周知用チラシを周辺地域に配布しました。

##### (エ) メール便

1月末をもってヤマト運輸株式会社からの業務委託が終了し、新たに2月から日本郵便のゆうメール配達業務を請け負うことができました。当初、ヤマト運輸は日本郵便への斡旋はしないとしていましたが斡旋をいただき、日本郵便には「障がい者の自立支援に資する」として委託契約をいただきました。

業務内容に大きな変化もなく、2月以降円滑に移行できました。

(オ) 菓子製造・販売、クラフト製品の販売

各種販売会が回復し、出店の機会が増えたこと、また喫茶での販売増もあり、菓子の売上を伸ばすことができました。

<作業収入及び工賃状況>

製品・作業内容	収入金額(円)	1人当たりの平均工賃月額(円)
自主製品販売(工芸品)	56,350	17,433 (前年比 102.4%)
自主製品販売(菓子食品)	214,050	
受託作業(加工)	347,714	
受託作業(清掃)	1,945,485	
受託作業(喫茶)	1,421,660	
受託作業(廃品回収)	1,481,401	
合計	5,466,660	

イ その他

4年ぶりに、パノラマ祭、パノラマ旅行を開催、実施することができました。

事業所内部で毎月行うメンバー会については、利用者にも企画・運営に加わってもらい、利用者の要望を踏まえての交流の機会としました。

(2) 共同生活援助事業

グループホーム「パノパノ」及び「ポノ」の運営を通じ、相談、入浴、食事、その他の日常生活上の援助を行い、地域のなかでの自立した生活を支援しました。

コロナ感染者対応では、帰省しての療養、相談室への隔離療養、グループホーム内での個室対応等により対応し、感染の拡大を防ぎました。

2 運営管理

(1) 指定更新(共同生活援助)

新たに6年間の指定を受けることができました。

有効期間 令和6年1月1日～11年12月31日

松本市から休憩時間、夜勤の勤務時間を中心に詳細な指導を受けました。

(2) 実地指導(就労継続支援B型)

昨年度に引き続き、松本市による実地指導がありました。昨年の指摘事項等については対応済だったため、新たに改善事項を指摘されることはありませんでした。

(3) 事業用定期借地権の再設定

B型事業用地の事業用定期借地権が12月末に期限を迎えることから、契約の再設定に向けて土地貸主との協議を進め、今後20年間の再設定契約を結ぶことができました。

契約期間 令和6年1月1日～26年12月31日

(4) 防災・安全管理

ア 火災報知器、AEDの設置管理については、セコムと委託契約を結んでいます。

イ 防災訓練、避難訓練を実施しました。

(5) 健康管理

ア	健康診断		
	利用者	令和5年11月	職員 令和5年12月～令和6年3月
イ	インフルエンザ予防接種		
	GH利用者	令和5年12月	職員 接種料の一部を補助

#### (6) 職員の資質向上（研修会）

虐待防止研修	(法人研修)
サービス管理責任者実践研修	(長野県相談支援専門員協会)
強度行動障がい支援者養成研修	(長野県知的障がい福祉協会)
自閉症支援セミナー	(長野県知的障がい福祉協会)
福祉職員生涯研修	(長野県社会福祉協議会)
就労支援スキルアップ研修	(全国障害者総合福祉センター)
人事評価研修	(法人研修)
業務継続計画策定研修	(介護労働安定センター)

### 3 地域・関係機関との連携

#### (1) 地域との交流・関係機関の行事参加

地元の城北地区福祉ひろばと、ひろば祭、クリスマス会、パノラマ祭での交流をさせていただきました。ほかに、入山辺地区福祉ひろば、メディアガーデン、育成会県大会、エクセラン高校文化祭、合同庁舎、市民活動フェスタ、みんなの音楽祭等で開催された販売会に参加しました。

#### (2) 実習生の受入

松本短期大学 2名

## &lt;利用者の状況&gt;

## 1 年齢別数

(人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
就労継続 支援B型	男	1	5	4	3	2	3	18
	女		1	4	3	2	1	9
	計	1	6	6	6	4	4	27
共同生活 援助	男		1	1	3	2		7
	女			2		1		3
	計		1	3	3	3		10
合計	男	1	6	5	6	4	3	25
	女		1	4	3	3	1	12
	計	1	7	9	9	7	4	37

## 2 障害別数

(人)

事業名	性別	身体	知的	精神	計
就労継続 支援B型	男	3	13	2	18
	女	1	7	1	9
	計	4	20	3	27
共同生活 援助	男		6	1	7
	女		3		3
	計		9	1	10
合計	男	3	19	3	25
	女	1	10	1	12
	計	4	29	4	37

## 3 認定区分別人数

(人)

事業名	性別	1	2	3	4	5	計
共同生活 援助	男		1	2	3	1	7
	女			1		2	3
	計		1	3	3	3	10

## &lt;職員の状況&gt;

## 職種別数

(人)

事業名	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業訓練 指導員	生活 支援員	世話人	計
就労継続 支援B型	1	1	1	1	10		14
共同生活 援助	(1)	1				10	11
合計	1	2	1	1	10	10	25*

注：( )内は兼務者数

※ 生活支援員と世話人との兼務者が4人おり、実人員は21人

## IV 小諸みかげ 事業報告

小諸みかげの事業運営は、職員一人々の経営に対する意識と収入増に関わる努力が成果に表れ始めて、自立支援費収入は前年度に比べて増収となりました。

就労支援活動、生産活動についても、受託紙器加工作業がコロナ禍前以上に復活した事などで増収となり、大幅な利用者工賃の引き上げに成功しました。

日中支援活動については、音楽療育活動や運動療法活動、外部・内部職員指導によるレクリエーション活動などに加えて、その他趣味的活動等もITC（タブレット、ノートPC）活用が充実し、個々の利用者の望む日中活動が実現しています。

本年度は保健福祉事務所による実地指導を受けました。口頭指導はありましたが過誤修正等はありませんでした。

育成会が運営母体となる事業所として将来的な事業形態を展望しつつ、小諸市における障がい福祉事業の発展と充実を目指します。真に利用者、擁護者から望まれる事業所として、また必要とされる事業所となるよう努力していきます。

### 1 提供したサービス

各事業運営については、計画相談による〔サービス等利用計画書〕に基づく本人の望むべきライフスタイルを的確に把握した上で、本事業所で提供する日中活動に関わる様々な日中支援活動を進めました。

サービス管理責任者と支援スタッフが作成する〔個別支援計画〕と、そのモニタリングに基づくサービス提供活動の充実を進めました。

さらに、計画に基づく支援の実践と検証、また見直しのためのスタッフ会議の体系化とコミュニケーションの深化、直接処遇職員の業務分担を進めました。

#### (1) 生活介護事業

生活介護事業の利用者は、高齢者を含む重度知的障害者、重度身体障がい者、高度な精神障がい者、強度の行動障がい者等であるため、一様なプログラムによる支援が困難です。特に意思決定支援によるニーズ把握が難しいため、個々に必要な身体介護、行動援助、精神的ケア、他支援サービス等を提供しました。

##### ア 生産・創作的活動

個々の希望を尊重し、高齢者には本人の望む十分な休憩をとっていただくよう配慮しました。精神不調によるこだわりの強い方には自分のやり方やペースを尊重できるよう配慮しました。強度の行動障害により、多動、こだわりが著しく、自傷、他傷のおそれのある方については、ほぼマンツーマンによる見守りと活動支援が必要でした。生産活動以外の時間はタブレット、ノートPC等を活用した日中支援活動も進めました。

<作業収入及び工賃状況>

製品・作業内容	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
自主製品販売(工芸品)	今年度実績無	1,251 (前年比 81%)
受託作業(加工)	72,600	
合計	72,600	

一部就労活動の作業内容の詳細は後表、就労継続支援B型の表に統合しています。

<創作・訓練的活動>

作業名	内 容	方 法
絵画活動	自由画、スタッフ共同画等	適時
趣味的作業	塗り絵、折り紙、切り抜き等	適時
アートの活動	書、トレース画、自由創作等	適時
手指訓練	ビーズ、大豆、はし、紐	適時
音楽活動	歌合わせ、【SNS】楽曲歌唱等	適時
気分転換	近所の散歩、【SNS】動画鑑賞等	適時

イ 日常生活の介護、援助、支援活動

日常生活支援については、日々必要な方に対しての不便のない身体的介護、介助や精神不調時のメンタルケア、不安定時のパニック対応等について職員間の連携を強化しました。重度身障者（車椅子使用者）については、介護職員の連携を進め、担当医からの指示による機能訓練等を継続しました。

ウ 社会生活の支援活動

社会生活の支援活動については、地域で暮らしていく上で、社会生活に必要な活動についての支援を行いました。

区 分	内 容	方 法
各種届け出	市役所等	送迎
制度利用	福祉サービス等、社会資源の活用	相談、付き添い
通院支援	定期通院、体調不良時の通院等	送迎、付き添い
金融機関	生活上必要な預貯金の引出等	送迎、必要時同行
買い物支援	生活上不可欠な買い物支援等	送迎、必要時同行
その他	不意の早退帰宅、緊急時の対応等	送迎、必要時対処

エ 健康、余暇等支援活動等

日常的なバイタルチェック、運動療育活動、機能訓練、音楽療育活動、施設内レクリエーション等の施設内活動、また外出レク、販売活動(休止中)などの支援活動に取り組みました。日々の健康を維持、増進し、生き甲斐をもって様々な活動を楽しめるようなサービスの提供に努めました。

区 分	内 容	方 法
運動療育活動	全体の健康活動と個別訓練	毎週木曜 委託
日常健康維持活動	朝体操 昼音楽体操 個別運動	毎日
音楽レク療育活動	音楽によるレク活動と発表練習	隔週火曜 委託
生きがいレク活動	ゲーム、クイズ、ストレス発散等	毎週水曜 ボラ
休日レク活動	利用者が決める映画鑑賞、カラオケ等	休日施設開所日
外出レク活動	屋外昼食会、公園遊戯、マレットG等	任意所定日
施設行事活動	花見、季節行事、誕生会、お楽しみ会	所定日
地域行事参加活動	行政・事業所イベント	所定日
販売活動	地域イベント等	施設開所
	行事参加と併せて実施(休止中)	自主製品販売等

オ サービス利用促進活動

小諸市は山間地に位置し、利用者の居住在所も広範囲に点在しています。

また、近隣3市町村からの利用者を受け入れています。このため、小諸市全域と御代田町、佐久市の一部について、可能な限りで送迎を行いました。

## (2) 就労継続支援 B 型事業

就労継続支援 B 型事業の利用者は、精神不調により就労的活動が不安定な方々が多数在籍しています。無理のない就業活動とタブレット等を活用したその他の日中支援活動を進めました。

今年度は、コロナ禍から復活した紙器加工作業の受注が大幅に増えた事による増収で、利用者工賃も大幅なアップとなりました。また、残材廃棄段ボールの処理について、資源回収による副収入というおまけも付いてきました。

### ア 就労支援活動

生産活動については支援計画において、より精神的な安定を重視する活動内容の変更を進め、過度な負担や重圧がかからぬような作業活動を進めました。

<自主製品制作作業> -今年度休止中-

作業名	内 容
縫製製品	袋類、ティッシュカバー等
木工製品	爪楊枝立て、キーホルダースタンド等
紙加工製品	自主製作オリジナルカレンダー等
アクセサリー製品	動物キーホルダー、ストラップ等

<受託作業>

作業名	内 容
行政調達受託作業	県ハローアニマル 清掃受託 県年金事務所 草刈り清掃受託(今年度中止)
一般企業受託作業	紙器ダンボール製品の加工 菓子箱折り作業等 小諸市公衆トイレ清掃受託 リースキンATM清掃作業
その他、受託訓練作業	漬物製品ラベルのシール貼り作業 個人スキルを活かした専門清掃作業等

<就労支援収入及び工賃状況>

作業内容	収入金額 (円)	1人当たりの月額平均工賃 (円)
受託作業 (加工)	1,449,089	12,782 (前年比 172%)
受託作業 (清掃)	193,800	
合 計	1,642,889	

### イ その他

日常生活の支援活動、社会生活の支援活動、健康、余暇等支援活動等、サービス利用促進活動については、同一施設の多機能型事業所であるため生活介護事業と共通で行いました。

## (3) 特定相談支援事業

相談支援専門員の大きな努力はありましたが、根本的な赤字体質の事業に変わりなく、他事業(生介・就継 B)からのサービス区分間で補填を行いました。

ア 「サービス等利用計画書」、「モニタリング計画書」作成業務に関わるサービス変更、新規利用等の手続き、関係事業所との連絡、調整などが大変でした。

イ コロナ禍から始まったリモート(電話、WEB)会議が増えました。

<計画相談支援実績>

計画相談実施件数	延べ計画書作成数
19 件	92 通

## 2 地域・関係機関との連携

### (1) 地域との連携

- ア 毎年恒例化した行事として、隣接、宅養老所の皆さんを招待し、七夕イベントなどは行うことができませんでした。(中止)
- イ 地域で行われる季節行事等の見学や参加は自粛しました。また、外出活動、販売活動等に合わせて、地域で催されるイベント参加も自粛となりました。

### (2) 関係機関、事業所等との連携

- ア 「小諸市」との連携：小諸市の指定管理事業所として、担当課との連絡、調整、依頼事項等について緊密な連携を行いました。
- イ 「佐久圏域相談支援事業所協議会」
- ウ 「小諸市事業所協議会」、「優先調達共同窓口」

### (3) ボランティア・福祉体験・の受入

活 動	内 容	団 体
季節行事昼食会 レクリエーション	行事昼食(徐々に復活) 定期レクリエーション活動	みかげ登録ボラ
福祉体験授業	市内中学生の体験授業 利用者との共同活動 (中止)	小諸芦原中学
福祉の職場実習	高等学校・福祉科生徒の体験実習 職場説明、研修 共同活動(中止)	東御清翔高校
福祉の職場体験	福祉の仕事を希望する就活者	体験者(本年度中止)

## 2-2 法人事業所間の連携

「小諸市福祉企業センター」と事業運営に関わる情報交換等の連携

## 3 経 営

### (1) 安定した経営の確立

収入に関わる高齢利用者や精神不調、不意の疾病などにより指定定員に対する実利用者人員の利用稼働率はほぼ安定してきました。

### (2) 人材の育成

- ア 内部研修の充実：本事業所の「職員研修計画」に基づき、障がい福祉サービスの提供職員としての必要なテーマについて研修を行いました。  
また、法人主催の「虐待防止」に係る全体職員研修にリモート参加しました。
- イ 外部研修の実施 各職員個々のスキルアップのための研修。  
新人研修1名 スキルアップ研修2名行いました。  
これらについては、「処遇改善計画」に必要な職場環境要件として、研修に伴う職員配置シフトへの配慮や研修に伴う諸費の補助を行いました。

### (3) 効率的運営

提供するサービスの低下につながらない範囲で事業運営に関わる更なる事業費、事務費等の経費の削減を行いました。また、可能な省エネに努めました。

#### (4) 事業継続計画（大規模被災時 BCP）の策定

火災、自然災害等により被災し事業継続が困難になった場合に備えて、非常時の事業継続及び閉所持への対応、方策、準備事項などを定めました。

### 4 管理業務

#### (1) 健康管理

ア 日常の健康管理・衛生管理については看護師、介護職員の平常業務とし家庭、生活拠点事業者等との連携のもと行いました。また、自力通院者についても医師との正確なコミュニケーションが困難な方は、職員が同行し対処しました。

イ 「保健衛生に関する規定」に基づき、「保健衛生管理責任者」を中心に、職員「流行性感染症対策マニュアル」を遵守し、健康チェックの常態化、職員スタッフによる高齢者施設等に準ずる日常的な衛生管理活動を行いました。

#### ウ 業務継続計画（感染症等 BCP）の策定

業務継続に支障をきたすような、重大な感染症が発生した場合の、或いは発生を防ぐための対策や対応等についての計画を策定しました。

#### (2) 権利擁護

障がい者の権利擁護に関わる虐待防止に関するマネジメントについては、支援費減算対象となるため、職員研修計画に盛り込み内部研修、外部研修等で職員スタッフ職務の重点課題として理解を深めました。

#### (3) 防災・安全管理

ア 6月に火災警報器、避難誘導灯、消火器点検に合わせて火災避難訓練を、11月の定期点検に合わせて緊急連絡網〔訓練〕確認を実施しました。

イ 朝礼時、毎日の人員、所在確認と予定の把握等の確認を行いました。

#### (4) 個人情報保護

法人の定める「個人情報保護規程」に基づき、適切に対応しました。

#### (5) リスクマネジメント

ア 今年度、苦情処理規程に基づき記録が必要とみなした苦情は0件でした。

イ 事業運営に支障をきたすような事故、事件、感染症等はありませんでした。

ウ GIGA・Wi-Fiの環境を整備したことによる複数の様々なデバイス接続に対するセキュリティー対策の保守を強化しました

エ 今年度末で一応の収束となりましたが、コロナ感染症対策について、多くの事業運営に関わる様々なコンプライアンスの徹底に努めました。

#### (6) その他

サービス評価については、利用者、保護者を対象とした「アンケート調査」を行っています。項目は、施設環境、人間関係（職員評価含む）、権利擁護（苦情受付、自己決定、プライバシー等）、について評価、意見をもらっています。

この評価等などは、指定管理者制度に基づき小諸市 HP から公表しています。

### 5 その他

(1) 情報開示

運営規程に定められた方法により公的調査による公開や定められた公的開示、施設内に掲示すべき、義務づけられた情報等について適切に開示しています。

(2) 情報発信

小諸市の担当課窓口での紹介や圏域支援センター等の紹介を利用しました。また、小諸市広報誌への掲載や圏域事業所紹介等を利用しました。

資料

令和6年3月31日現在

<利用者の状況>

1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	計
生活介護	男	1	1	1	1		1	1	6
	女		2	1	1				4
	計	1	3	2	2		1	1	10
就労支援型B	男			2	2	1		1	6
	女				2	1	1	1	5
	計			2	4	2	1	2	11
合計		1	3	4	6	2	2	3	20

2 障害種別数 重複あり(利用受給者証種別) (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	計
生活介護	6	1	3			10
就労支援型B	7	1	3			11
合計	13	2	6			21

<職員の状況>

職種別数 (人)

事業名	管理者	サービス 管理責任者	生活 支援員	職 指 導 員	業 務 支 援 員	就 労 支 援 員	相 支 専 門 員	談 援 員	看 護 師	送 専 門 員	迎 員	計
生活介護	1	(1)	3						1			5
就労支援型B	(1)	(1)	1	1								2
計画相談支援	(1)						1					1
合計	1		4	1			1		1			8

注：( ) 内は兼務者

## V Lサポート事業報告

一人ひとりの障害に違いはあっても、誰もが心安らかで充実した生き方をしたいという願いを常に持っています。この願いに応えるべく多機能型事業所として、その特徴を生かした事業を展開してまいりました。

グループホーム「きららの郷」では台風、地震などの自然災害にも安全な場所で安心した生活を送ることができました。また、感染症などの健康面に配慮しながら一人ひとりの思いを尊重しながら満足の行く支援に努めました。Lサポートでは「東栄町事業所」「きらら事業所」と連携をして、高齢障害者、重度障害者の日中活動はどうしたら良いのか、利用者一人ひとりに対し対応を変えながら支援を行ってきました。

利用者の願いを更に探り、それに合わせた活動や対応を工夫し、地域との連携を強化し、今まで以上に満足のいく生活づくりを推進しました。

### 1 提供したサービス

#### (1) 生活介護事業

サービスの提供にあたり、生活介護と就労継続B型との支援の区分を明確にし、それぞれのサービスの内容について、利用者の意向、適性、障害等の事情を踏まえて、適切かつ効果的に提供するように努めてきました。

##### ア 生産にかかわる活動

就労継続支援B型の利用者が行う作業の中で、一層優しい軽い作業を、一人ひとりの適正等に合わせて取り組めるようにしてきました。

##### <受託作業>

作業名	内容
牛乳パック回収	各施設、洋菓子店、病院等からの回収
キャップ分別	ペットボトルの仕分け
箱折り	ダンボールの折り目つけ
水引正月飾り加工	干支付け、乾燥剤入れ、袋詰め

##### <作業収入及び工賃状況>

製品・作業	収入金額(円)	一人当たりの月額平均工賃(円)
自主製品販売(工芸品)	1,018	1,190 (前年比 84%)
受託作業(加工)	86,086	
合計	87,104	

##### イ 手芸、工作活動の実施

季節行事などに係る作品を製作し、季節感や行事を楽しむことにより生活を楽しみ、新たな活動への意欲を高めるような取り組みをしました。

また、多くの皆さんに見てもらえるよう展示スペースを設け展示をすることができました。

##### ウ 施設外での活動

お花見、見学など施設外での活動では、目的地を工夫し目先を変えた活動、たくさんの方の経験を重ねる活動に取り組んできました。

活動名	内 容
四季の行事	お花見、緑陰を訪ねて、紅葉狩り、クリスマス会 他
製作活動	雛飾り、鯉のぼり、クリスマスツリー、他
施設外活動	花見、作品展見学、他

## エ 健康管理

朝、昼の2回体温測定を行い健康観察を実施するとともに、顔色など様子に不調を感じたような場合には、家庭との連携をとりました。また、週1回看護師による血圧測定や健康相談を実施しました。

また、月1回、理学療法士をお願いし、姿勢の矯正、補助具の工夫のし方等の指導を受けるとともに、家庭への連絡などを行ってきました。

## (2) 就労継続支援B型事業

活動は、「東栄町事業所」と「きらら事業所」の2か所で行いました。

東栄町事業所の利用者は、片麻痺など身体障害の方が多く、作業としては軽微な作業が中心でした。

きらら事業所では、企業からの受託作業も安定してきました。また、龍江地区農家への季節に応じた作業の手伝いや、下久堅での資源回収の継続により地区の方々との交流をすることができました。

### ア 生産活動

利用者一人ひとりの特性に配慮した作業内容、作業工程の工夫に努めるとともに、利用者の気持ちに寄り添うよう努めました。

また、活動を通して構築される生活に、充実感を得られるように心掛けました。

作業種を増やすことにより工賃アップを図りました。

#### <自主製品製作作業>

事業所名	作業名	内 容
東栄町事業所	飾り物	クリスマスリース、吊るし雛など飾り物の製作
きらら事業所	農業	米、さつまいも、夏野菜
	竹製品	施餓鬼棒

#### <受託作業>

事業所名	作業名	内 容
東栄町事業所	廃品回収	アルミ缶 ペットボトルキャップ回収
	喫茶運営	ふれあいサロン（飯田勤労者福祉センター内）
	受託作業	水引袋入れ、シリカゲル入れ
	清掃作業	さんとびあ 外回りの掃除
きらら事業所	柿取等作業	柿取作業 柿つるし ニンニクの植え付け
	受託作業等	シール貼り、段ボール組立、水引作業
	廃品回収	古紙、アルミ缶等回収

### (ア) 自主製品について

きらら事業所では、米をグループホーム、弁当販売事業所、個人に販売をしました。

#### (イ) 受託製品について

東栄町での水引の作業は利用者の大部分の方が関わることができ、年間を通じて安定した収入になりました。

下久堅地区での柿取、廃品回収作業は、農家から頼まれて行っている作業です。農家、区民から喜ばれることで意欲的に取り組むことができました。

#### <作業収入及び工賃状況>

製品・作業名	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
自主製品販売(農産物)	415,360	21,175 (前年比 130%)
自主製品販売(工芸品)	427,202	
受託作業(加工)	1,951,500	
受託作業(廃品回収)	207,802	
受託作業(喫茶)	1,530,410	
受託作業(清掃)	374,400	
合計	4,906,674	

#### イ 季節にかかわる行事等、施設外での活動

安定した生活に変化をつけることによって、生活づくりに向かう意欲が一層高まるように展覧会の見学、買い物、食事会に出かけました。

活動名	内容
四季の行事	お花見、緑陰を訪ねて、紅葉狩り、クリスマス会 他
余暇活動	展覧会、ゲーム 他
交流会	新型コロナウイルス感染防止のため取りやめ
収穫祭	農作業のまとめと
昼食会	テイクアウト昼食

#### ウ 健康管理

朝の会で、体温測定、顔色等状況観察を行い、健康の状況を把握し、新型コロナウイルス感染防止のための措置に努めました。

ホームにいる利用者については、服薬、血圧測定、脈拍、体温測定などによって、健康状況の把握に努めました。

### (3) 共同生活援助事業

大雨による避難もなくなり、安心、安全な生活ができるようになりました。健康面では主治医に相談しながら、早めの対応を心掛け大きな病気になることなく生活をすることができました。1月に利用者2名が新型コロナウイルスに感染しました。短期入所については利用者2名で延べ10日の受け入れがありました。

### (4) 相談支援事業

圏域の障害者及び家族の相談に応じ、その直面する課題に柔軟に対応するよう努めました。

- ・内容：計画相談8件、モニタリング2件を実施しました。

## 2 管理業務

### (1) 利用者との関わり

朝の会と終わりの会を重視しました。家庭からの前日から当日にかけての状況連絡を受け、その対応の仕方等について、毎日検討を行いました。

### (2) 健康管理

施設において健康を害した方はなく1年間を過ごすことができました。健康管理に十分配慮した結果ととらえています。

### (3) 防災・安全管理

ア 危機管理については、常に安全の確保に配慮しました。交通事故、道具の使用法、農機具の扱い方、感染症への対応等普段から留意してきたこともあって、大きな事故はありませんでした。

ヒヤリ・ハットでの情報の共有化をすることにより、危機管理意識を職員が持てたことが、危機管理の向上につながっていると思います。

イ 防災訓練を、年2回実施しました。地震、火災、への対応に分けて行い、防災への意識を高めるようにしました。

### (4) 苦情解決

3件の苦情がありました。運営委員会へ報告を行い検討をしました。本人、家族にお詫びに伺い、休憩時間に職員の見守りを入れるようにしました。

### (5) その他

飯田保健福祉事務所による実地指導があり、過誤調整を行いました。

## 3 地域・関係機関との連携

### (1) 地域との交流

資源回収に着手することができ、地域との話し合いが進んできました。実際に各家庭を周る中で、地域とのかかわりが深まりつつあります。

また、龍江地区への移転を契機に「龍江地区・Lサポートきらら連絡協議会」を設立し、地域との交流活動促進、相互理解の促進に努めました。

### (2) 関係機関との連携

飯伊圏域障害者総合支援センターとは、絶えず連絡を取り合ってきました。利用者への援助のあり方などを得たり、利用者紹介を依頼したり、施設としても参考になる点が多くありました。相談支援専門員との情報共有ができ支援の協力をしてもらえたことはありがたかったです。

飯田市とも、必要な時にすぐに連携の取れる体制になっています。

## &lt;利用者の状況&gt;

## 1 年齢別数(サービス重複利用者あり) (人)

事業名	事業所名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 ～	計
生活介護	東栄町事業所	男			1		2	2		5
		女			1	1	3			5
		計			2	1	5	2		10
就労支援 B型	東栄町事業所	男			1		1	1		3
		女			1			2		3
		計			2		1	3		6
	きらら事業所	男		1	2	1	1	3		8
		女			4	1			1	6
		計		1	6	2	1	3	1	14
共同生活 生活援助	きららの郷	男			1	1		3		5
		女			1	2			1	4
		計			2	3		3	1	9
合	計		1	12	6	7	11	2	39	

## 2 障害別数(人)(障害の重複あり) (人)

事業所名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	計
東栄町事業所	9	6	1			16
きらら事業所	10	1	3			14
きららの郷	8	1				9
合計	27	8	4			39

## 3 認定区分別数 (人)

事業名	1	2	3	4	5	6	計
生活介護		1	4	5			10
共同生活援助		4	2	2	1		9

## &lt;職員の状況&gt;

## 職種別数 (人)

事業名	管理者	施設長 代理	サービス 管理者 責任者	生活 支援員	職業 指導員	看護師	世話人	計
生活介護	(1)	1	(1)	3	1	1		6
就労継続支援B型	1	(1)	1	1	5			8
共同生活援助	(1)		(1)	1			5	6
相談支援	(1)			(1)				
合計	1	1	1	5	6	1	5	20

注：( )内は兼務職員配置

## &lt;新型コロナウイルス感染者状況&gt; (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

東栄町事業所：職員1名、きららの郷：利用者2名 職員2名

## VI 小諸市福祉企業センター事業報告

小諸市が、現在の地において昭和 55 年から直営で開所・運営してきた「小諸市福祉企業センター」を、市から指定管理者として平成 27 年 10 月から運営を開始し令和 3 年度から令和 7 年度まで 5 年間引き続きの指定を受けました。

市直営時に実施していた生活保護授産事業及び基準該当就労継続支援 B 型事業を改編し、生活保護授産事業と長野県から新たに指定を受けた就労継続支援 B 型事業を開始するとともに、地域から強い要望のあった就労移行支援事業を平成 28 年 6 月から開始しました。

近隣企業の協力を得て、受託加工業務を継続実施するとともに、自主製品の製作・販売にも取り組みました。

一方で、福祉サービス事業所ならではの利用者の立場に立った相談支援や生活支援に努めました。

今年度は新型コロナウイルスが 5 類への移行に伴い規制も緩和されましたが、感染対策が習慣となっていることから、不要不急の外出を避けていただくとともに三つの基本（マスクの着用・手洗い消毒・身体的距離の確保）を継続してきました。成果として利用者に 3 人の感染者（6 月 1 人、2 月 2 人）が出ましたが軽症で感染拡大には至りませんでした。

今年度はイベントが復活となり、ハローアニマル祭り・御代田ふれあい祭り・ポッチャ大会・福祉大会等に参加し、地域の人々とのふれあいの機会が多くなりました。

また、差別なく障害のある人もない人も共に働く施設であることから、10 月の研修旅行では消防署・ごみ焼却場を視察した後温泉に浸かりで親睦を深めることができました。

受託作業につきましては大手企業の受託加工が海外にシフトする等できびしい状況となり減額となったものの就労継続 B 型事業では仕事の確保に努力したことから工賃単価の上昇に結びつきました。

### 1 提供したサービス

#### (1) 生活保護授産事業

授産事業の利用者は、障害や病気などの課題を持っているとともに高齢の方が多い（平均年齢 66.9 歳）ことから、個々の適性や可能性を生かした作業を準備し、一人ひとり充実感を持って日々の生活を送れるよう努めてきました。

また、年間の生活に変化をつけるような活動を入れて、マンネリを避け、より豊かな生活となるように努めてきました。

#### ア 就労支援活動

利用者の特性に配慮した作業内容となるよう作業工程の工夫をし、一人ひとりの気持ちに寄り添うような関わりを持つ中で、活動そのもの、活動を通して構築される生活に、充実感を得られるように心掛けてきました。

少しでも多くの工賃収入が平均的に得られるように、事業所内で調整しながら、各種の業務に取り組んできました。

<受託作業>

作業名	内 容
紙製品加工	パンフレット折り、封筒糊付け
段ボール加工	型抜き、組立、箱折り、糊付け等
工業製品加工	ベアリング製品のグリス塗り、梱包等
電気部品加工	電線接続端子カバー取付、ケーブル結束等
ファイル加工	折り、綴り具取付等
漬け物パック梱包	漬け物パック袋詰め、シール貼り、梱包作業等

<作業状況及び工賃状況>

作業名	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
受託作業(加工)	3,859,673	17,536 (前年比109%)

イ 生活支援・余暇活動

日々の生活を楽しみ、さらに生活意欲が向上することを大事に考えて、季節を意識した各種行事に取り組んできました。また、今年度も外部の行事はコロナウイルス感染防止の為にイベントが中止となりました。

活 動	内 容
四季の行事	七夕飾り、研修旅行、クリスマス会、節分豆まき、ひな祭り
外部行事	コロナウイルス感染防止の為に中止となる

ウ 社会生活の支援活動

同じ日課を繰り返すことを大事にして、利用者の安定を図ってきました。通年、朝8時30分までに各自それぞれの方法で通所し、ラジオ体操、朝の作業、10時の休憩、午前の作業、昼食休憩、午後の作業、各自帰宅の流れを基本としてきています。

希望者には移動時の交通手段や手続きの方法、利用可能な施設などを紹介しました。

エ 健康管理活動

健康管理は各自が家庭でやっていただくことを基本としていますが、朝のラジオ体操時に健康観察を行うとともに、作業中に顔色などの様子に不調を感じたような場合は、体温や血圧を計測し、医療機関での診察を勧めました。

2か月に1回、保健師2名にお願いし、血圧測定や健康相談を行った他、小諸市で行う健康スクリーニング(国保健診)に集団申し込みをし、半数以上の希望者が受診しました。

(2) 就労継続支援B型事業

利用者の障害の態様は一律ではないことから、個々の適性や可能性を生かした作業を準備し、一人ひとりが充実感を持って日々の生活を送れるよう努めてきました。

ア 就労支援活動

利用者の特性に配慮した作業内容、作業工程の工夫をし、一人ひとりの気持ちに寄り添うような関わりをする中で、活動そのもの、活動を通して構築

される生活に、充実感を得られるように心掛けてきました。

少しでも多くの工賃収入が平均的に得られるように、事業所内で調整しながら、各種の業務に取り組んできました。

＜受託作業＞

作業名	内 容
段ボール加工	型抜き、組立、箱折り、糊付け加工等
工業製品の梱包	ベアリング製品へのグリス塗り、袋入れ、箱詰め等
電気部品加工	ケーブル接続コネクタ取付、ハウジング加工等
ファイル加工	折り、ポリ綴り具の取付等
紙製品の加工	折り、両面テープ貼り、糊付け加工等

＜自主製品＞

自主製品	販売場所
サシェ 缶バッジ	夢ハーベスト農場、ハローアニマル祭り、御代田ふれあいまつり、小諸市福祉大会、小諸駅前スマートカート乗場、小諸市手をつなぐ親の会イベント会場

＜作業収入及び工賃状況＞

製品・作業名	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
受託作業(加工)	4,182,521	26,952 (前年比 112%※)
受託作業(清掃)	59,700	
自主製品	98,710	

イ その他

生活支援・余暇活動、社会生活の支援活動、健康管理活動については、同一施設の多機能型事業所であるため生活保護授産事業と共通になります。

(3) 就労移行支援事業

一般就労に必要な技術・知識を習得できるように訓練し3か所の受験をし、新年度に市役所への就職が決まりました。

ア 就労支援活動

事業所内の各種受託加工作業を行いながら、安定して作業を継続する訓練を行いました。

＜受託作業＞＜自主製品＞は就労継続支援B型と同じです。

＜作業収入及び工賃状況＞

作業名	収入金額(円)	1人当たりの月額平均工賃(円)
受託作業(加工)	97,377	10,241 (前年比 40%)

イ その他

生活支援・余暇活動、社会生活の支援活動、健康管理活動については、同一施設の多機能型事業所であるため生活保護授産事業と共通になります。

2 地域・関係機関との連携

(1) 家族との連携

休みの計画やコロナ対策など随時プリントで家族にもお知らせしました。また、特に情報交換が必要な利用者には、連絡ノートに事業所での様子を連絡するとともに、意見をいただきました。

## (2) 地域との連携

小諸駅前スマートカート乗場と小諸市手をつなぐ親の会の展示会にて自主製品（缶バッジ）の販売をしました。なお、缶バッジの添付説明書のイラストは手をつなぐ親の会から提供の物を使用しました。

## (3) 関係機関・事業所等との連携

### ア 小諸市との連携

小諸市福祉事務所とは、課題のある利用者の生活や健康面について随時連絡を取り情報共有しながら利用者の支援を進めてきました。

### イ 佐久圏域障害者自立支援協議会との連携

佐久圏域障害者自立支援協議会の就労アセス体制整備ワーキングにおいて、圏域の各種課題の検討に参加するとともに、就労アセスを分担できる事業所としてアセスの受け入れを行ってきました。

## (4) 就労体験の受け入れ

内 容	相 手 方	人 数
就労体験	小諸養護学校	6

## 2-2 法人事業所間の連携

同一市内にある小諸みかげとは、災害時の相互支援協定を締結しました。また、相談支援をお願いしています。

## 3 経営

### (1) 安定した経営の確立

就労継続支援B型事業では、休みがちな利用者に電話するなど、出席率を増加することで収入増を図りました。また、利用者確保を小諸市に働きかけてきました。

### (2) 人材の育成

所内研修とともに、各種外部研修にウェブで参加し、所内ミーティングで発表、研修成果の共有化を図りました。

#### ア 所内研修の実施

内 容	時 期
ご利用者やご家族等からのハラスメント研修	8 月
不適切な身体拘束を防止するための研修	9 月
佐久地域 感染症の予防対策の基本研修	12 月
障害者虐待防止動画研修	12 月
佐久圏域 障害者虐待防止・権利擁護研修	1 月
事業系一般廃棄物の分別と減量研修	1 月

毎日の職員ミーティングにおいて、連絡事項については当然ながら、市や家族からの連絡を受けてその利用者への対応の仕方、作業中の状況報告を受けてその関わり方等について、利用者の立場に立ち、福祉とは何かという立場から、毎日検討し合ってきました。

#### イ 法人内研修への参加

内 容	時 期
財務研修	7月
目標とやりがいを持って働ける職場づくり	9月
虐待防止について研修	1月

### (3) 効率的運営

節電、節水等省エネに努めました。特に節電は電気代の約3月分を節約しました。事業費、事務費とも経常経費の他、物品は極力緊急性の高い物の購入にとどめ、運営経費節減に努めました。

## 4 管理業務

### (1) 健康管理

ア 職員については、生活習慣病予防検診の他、希望者にインフルエンザ予防接種を実施。職員ストレスチェックも実施して精神面のケアをしました。

イ 感染症の感染防止対策として、全員に毎朝、家庭での検温の依頼をすると共に施設玄関に非接触式体温検知器・自動アルコール噴霧器を設置しました。

また、手洗いに関しては正しい手洗い方法を指導するとともに、手洗い場に紫外線消毒高温乾燥機・自動アルコール噴霧器で手指消毒を行いました。

施設内のマスク着用を定着させ定期的に窓開け換気を行いました。

法人の感染症対策マニュアルに従い対策を講じるとともに、施設独自の衛生管理マニュアルを作成して、毎日、職員が次亜塩素酸ナトリウムによる施設内消毒を行ないました。

### (2) 権利擁護

虐待防止・権利擁護研修を実施し、虐待につながるリスクの対応策研修を行いました。

### (3) 防災・安全管理

ア 危機管理については、折に触れて確認を行ってきました。交通事故防止、道具の使用法、製品の搬入搬出時の事故防止、感染症への対応等普段から留意してきたこともあって、大きな事故がなく過ぎました。常に危機管理意識を職員が持つことで、危機管理の向上に繋がっています。

イ 防災訓練を、1回実施しました。

ウ 事業継続計画を（大規模災害と感染症）作成しました。

エ 災害時の相互支援協定を、地元自治会（荒堀区）・小諸市社会福祉協議会・小諸みかげと締結しました。

#### (4) 個人情報保護

法人個人情報保護規程に基づき、個人情報の入ったファイルの施錠管理など保護の徹底に努めました。

#### (5) リスクマネジメント

法人の苦情解決の仕組みを利用契約時にていねいに説明するとともに、苦情解決フロー図を目のつきやすい場所に掲示しました。

利用者同士のトラブルに関しては、あらかじめ指導員が気配を察知しその場で間にすぐに割り込み緩衝材となる対応を随時行ったので 2 件で済み、いずれも他人の臭いに関するもので所長が対応しました。

#### (6) その他

サービス評価のため、利用者アンケート調査を実施しました。概ね良いとの結果が出ました。

### 5 その他

#### (1) 情報開示

運営規程に基づき情報公開に努めました。ワム・ネットにて公開しました。

## &lt;利用者の状況&gt;

## 1 年齢別数 (人)

事業名	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 ～	計
生活保護授産	男				1	2	7		10
	女				1	1		5	7
	計				2	3	7	5	17
就労継続支援 B型	男		2	3	3	2	1	1	12
	女		1			1	3		5
	計		3	3	3	3	4	1	17
就労移行・ 就労定着支援	男				1				1
	女								
	計				1				1
合計			3	3	6	6	11	6	35

## 2 障害者別数 (手帳非保有者を除く) (人)

事業名	知的	身体	精神	視覚	聴覚	難病	計
生活保護授産	6	5	1				12
就労継続支援B型	9	2	6				17
就労移行						1	1
就労定着							
合計	15	7	7			1	30

## &lt;職員の状況&gt;

## 職種別数 多機能型 (人)

事業名	管理者	サービス 管理者 責任者	生活 支援員	作業 指導員	職 指導員	就労 移行 支援員	就労 定着 支援員	労 相 談 専 門 員	計
生活保護 授産	1			3					4
就労継続 支援B型	(1)	1	(3)	(2)	3				4
就労移行 支援	(1)	1	1		(1)	(1)			2
就労定着 支援									
合計	1	2	1	3	3				10

注：( ) 内は兼務者数

## &lt;新型コロナウイルス感染者状況&gt; (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

利用者3名 感染者の拡大はありませんでした。